

広報 みぶ

2015
4
No.671

主な内容

平成27年度壬生町一般会計当初予算 …… 2～5
防災行政無線システムについて …… 8～9

桜色の夜

平成27年度壬生町一般会計当初予算

予算
規模

11,480,000千円

① ① ④⑧
一步一步前進、幸せな街「みぶ」の創生
～次の未来にむけてチャレンジ～



壬生町長の小菅一弥です。平成27年度当初予算を発表させていただきます。平成27年度当初予算は、人口減少問題に取り組むべく、子育て環境の充実に取り組んでいく内容となっております。



一般会計の概要説明

平成27年度の壬生町一般会計予算は、11,480,000千円で、前年度と比較すると1.03%の減額となっております。大規模事業等の完了と医療費助成の拡大等により、前年とほぼ同水準の予算規模となりました。

主な要因といたしましては、中央公民館の改修工事（舞台機構設備改修工事、エレベーター設置工事）の完了、聖地公園整備事業の縮小及び中小企業融資制度事業の預託金の減額、などによるものです。

また増額となった事業としましては、こども医療費助成事業の現物給付の拡大、保育所緊急整備事業（民間保育園の増築）、町道保全事業（歩道橋改修等）及び中央公民館バリアフリー化改修工事などによるものであります。

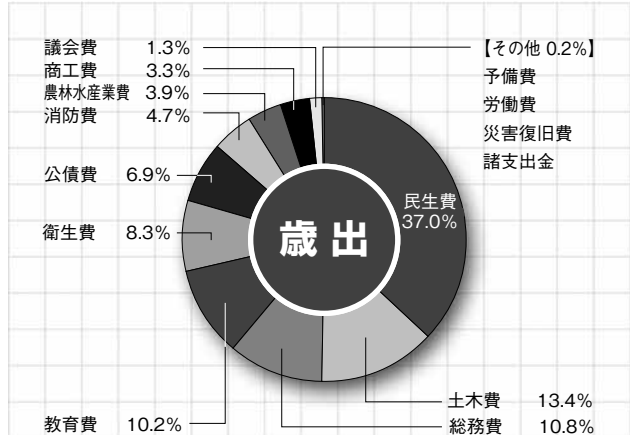
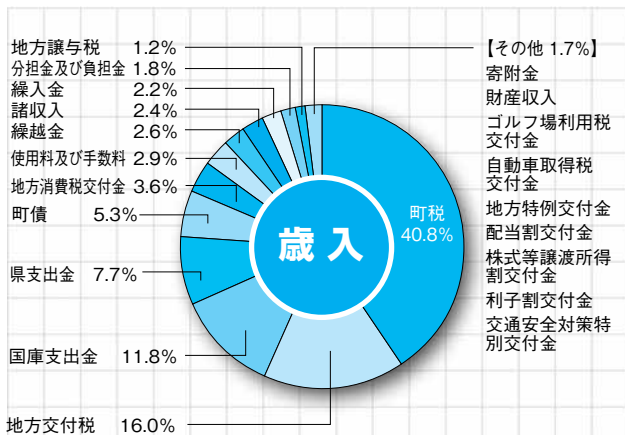
歳入では、町税にて僅かではありますが増額を見込んでおります。個人住民税につきまして給与所得者数の増加が鈍化している事や法人住民税の税率改正により減額となるものの、固定資産税において民間住宅の増加やみぶ羽生田産業団地の新規課税等により増加となっております。地方交付税については、基準財政収入額として固定資産税の増加や地方財政計画にて出口ベースの減額が示されていることなどにより減収を見込みました。臨時財政対策債については、町債残高が増加傾向にある事も考慮し、昨年比1億円減（5億円⇒4億円）にて借入額を抑制。不足する財源については、財政調整基金等の取崩しで対応しております。

以下、款別の予算額や主な重点事業及び新規施策等については、次頁にてご紹介させていただきます。

一般会計 歳入 歳出 款別集計表

歳 入		(単位:千円)			
款		本 年 度		対前年度 増減	対前年度 比(%)
		予算額	構成比(%)		
1 町 税		4,679,812	40.8	39,825	100.9
2 地 方 譲 与 税		135,000	1.2	△5,000	96.4
3 利 子 割 交 付 金		8,000	0.1	△1,000	88.9
4 配 当 割 交 付 金		15,000	0.1	11,000	375.0
5 株式等譲渡所得割交付金		10,000	0.1	8,000	500.0
6 地方消費税交付金		410,000	3.6	10,000	102.5
7 ゴルフ場利用税交付金		33,000	0.3	0	100.0
8 自動車取得税交付金		20,000	0.2	0	100.0
9 地方特例交付金		20,000	0.2	0	100.0
10 地 方 交 付 税		1,840,000	16.0	△100,000	94.8
11 交通安全対策特別交付金		5,000	0.0	△1,000	83.3
12 分担金及び負担金		206,227	1.8	△2,175	99.0
13 使用料及び手数料		329,936	2.9	△38,342	89.6
14 国 庫 支 出 金		1,353,106	11.8	47,574	103.6
15 県 支 出 金		887,425	7.7	81,355	110.1
16 財 産 収 入		36,911	0.3	△3,059	92.3
17 寄 附 金		50,503	0.4	50,499	1,262,575.0
18 繰 入 金		249,735	2.2	7,039	102.9
19 繰 越 金		300,000	2.6	0	100.0
20 諸 収 入		279,645	2.4	△57,916	82.8
21 町 債		610,700	5.3	△166,800	78.5
合 計		11,480,000	100.0	△120,000	99.0

歳 出		(単位:千円)			
款		本 年 度		対前年度 増減	対前年度 比(%)
		予算額	構成比(%)		
1 議 会 費		146,285	1.3	6,857	104.9
2 総 務 費		1,234,823	10.8	46,097	103.9
3 民 生 費		4,251,304	37.0	△4,530	99.9
4 衛 生 費		952,096	8.3	37,785	104.1
5 労 働 費		81	0.0	△2	97.6
6 農 林 水 産 業 費		451,538	3.9	△2,503	99.4
7 商 工 費		378,046	3.3	△86,247	81.4
8 土 木 費		1,543,485	13.4	△63,993	96.0
9 消 防 費		539,041	4.7	△7,836	98.6
10 教 育 費		1,172,272	10.2	△78,466	93.7
11 災 害 復 旧 費		5	0.0	△11,497	0.0
12 公 債 費		791,021	6.9	44,335	105.9
13 諸 支 出 金		3	0.0	0	100.0
14 予 備 費		20,000	0.2	0	100.0
合 計		11,480,000	100.0	△120,000	99.0



歳入合計 114億8千万円

歳出合計 114億8千万円

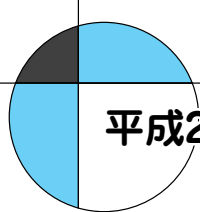
【特別会計】

会 計 名	予 算 額	対前年度比
国民健康保険特別会計	53億4,229万2千円	112.7%
公共下水道事業特別会計	16億9,924万6千円	121.0%
奨学資金特別会計	170万1千円	89.5%
介護保険事業特別会計	28億666万2千円	107.7%
農業集落排水事業特別会計	7億420万7千円	96.2%
後期高齢者医療特別会計	3億4,169万7千円	102.6%

【企業会計】

水道事業会計	予 算 額	対前年度比
収 益 的 収 入	6億3,573万9千円	101.3%
収 益 的 支 出	5億1,948万2千円	100.2%
資 本 的 収 入	1億4,065万円	35.7%
資 本 的 支 出	5億373万円	72.6%

* 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金取り崩し額及び当年度分損益勘定留保資金等で補てんいたします。



平成27年度 主要な施策の概要（「戦略プラン」より抜粋）

プロジェクトⅠ

みんなで進める 持続・発展のまち

地方分権の進展や、町民参加型まちづくり、そして行財政改革の必要性の高まりなどを踏まえ、町民一人ひとりの個性が発揮でき、みんなが参加する協働の作業によってまちづくりを総合的に支えていける環境を創るとともに、健全で安定した行政経営を進めます。

●合併60周年記念事業【新規】

3,000千円

- ・平成27年度が、合併60周年を迎えることから、記念行事を開催

●第6次総合振興計画策定事業

6,017千円

- ・公募住民会議委員による提言を計画に反映

●いきいきふれあい応援事業の継続実施（自治会活動支援）

9,050千円

- ・住民が主役の地域づくりを行う自治会活動支援を継続実施

●ゆうがおマラソン開催事業

6,600千円

- ・マラソン大会実行委員会補助 6,600千円
⇒スポーツ振興くじ（t o t o）助成金の活用（3,840千円）

●ゆうがおスポーツクラブの支援（総合型地域スポーツクラブ）

2,000千円

●栃木県都市町対抗駅伝競走大会出場への支援

1,100千円

- ・壬生町駅伝チームの支援 850千円
- ・小学生駅伝競走大会出場補助金 250千円

●新体育館建設事業

8,597千円

- ・用地測量調査業務委託料 8,470千円

プロジェクトⅡ

壬生でよかった だれもが住みたいまち

壬生町の安定的な成長の礎は、誰もが住み続けたいと感じてもらえることです。みんなが住んでよかった、そして、住んでみたいと思える壬生町の実現に向けて、特に生活・サービス分野での施策を充実させていきます。

●こども医療費助成事業

175,348千円

- ・窓口払いを必要としない現物給付対象を中学3年生まで拡大
子育て環境の充実のため、保護者の負担軽減を図る

●子どものための教育・保育給付事業

553,045千円

- ・民間保育園に加え、認定こども園に対する給付事業を開始

●一時預かり事業

12,630千円

- ・民間保育園に加え、幼稚園による一時預かり事業に対する給付事業を開始

●病児保育事業

12,977千円

- ・病児保育施設広域利用委託《新規》 134千円
- ・病後児・体調不良児保育 12,833千円

●保育所緊急整備事業補助金【新規】

29,907千円

- ・ステラ獨協前保育園増設に対する補助

●高齢者地域見守り支援事業

5,219千円

- ・地域による高齢者見守り体制の構築

●老人保健福祉施設整備事業【新規】

35,422千円

- ・認知症高齢者グループホーム施設整備（1施設：9床）

●健康長寿のまちづくり事業【新規】

1,000千円

- ・獨協医科大学との共同研究により健康課題を調査し、健康寿命の延伸を図る

●小・中学校学力向上支援の継続実施

78,653千円

- ・学力向上等のための講師を継続配置
学力向上支援員：24名、フルタイムティーチャー：4名、教員助手等

●スクールランチサポート事業の継続実施

17,381千円

- ・学校給食費の助成 児童生徒一人につき月額500円を助成

●中学生海外派遣の継続実施

9,756千円

- ・第18回中学生海外派遣事業補助金（中学生20名派遣）

●中学生地域活動参画推進事業の継続実施

180千円

- ・中学生が地域へのボランティア活動に参画しやすい環境を整備

●中央公民館改修等工事

29,168千円

- ・バリアフリー化改修工事 8,781千円
トイレの洋式化及びスロープの設置

●図書館管理運営事業

37,657千円

- ・公募による指定管理者の導入《新規》 34,198千円
（平成27～31年度：5か年間）

町民の日常の暮らしの中で、その生活基盤の整備充実が必要不可欠な要素です。また、緑豊かで自然と共生した都市づくりを進めていくことで、壬生町の魅力は更に向上していきます。そのため、生活基盤の充実とともに、緑園・環境都市づくりを進めます。

- デマンドタクシー“みぶまる”運営事業の充実
 - 9,212千円
 - ・デマンドタクシー“みぶまる”運行業務委託料 5,508千円
- 交通安全施設整備事業
 - 3,231千円
 - ・ゾーン30設置工事（落合地区：24ヶ所） 1,404千円
- 住宅用太陽光発電システム設置補助事業
 - 9,000千円
 - ・60千円×150基 補助単価見直しの上事業の継続
- 町道保全事業
 - 62,000千円
 - ・国庫補助金を導入し、幹線道路の老朽化対策、歩道橋の修繕及び交通安全施設を整備する
- 六美地区雨水排水対策事業の整備推進
 - 193,050千円
- 幹線道路の整備推進
 - 164,100千円
 - ・幹線道路の整備により安全で円滑な交通の確保を図る。
二級町道53号 59,050千円

⇒壬生高校周辺の道路及び歩道の整備
町道2-166号 44,050千円
⇒獨協医科大学北側の道路及び歩道の整備
町道2-279号 61,000千円
⇒バンダイミュージアム周辺の道路整備（おもちゃ団地進出50周年関連）

- 生活道路等の整備推進
 - 100,654千円
 - ・町単独道路整備：町道2-306号線（おもちゃのまち）他
- 六美町北部地区土地区画整理事業
 - 10,499千円
 - ・地区界測量等業務委託料 8,385千円
- デジタル消防無線整備事業【新規】
 - 8,119千円
 - ・無線のデジタル化に伴い、消防車両の無線のデジタル化及び携帯無線機のデジタル化を進める
- 災害対策事業
 - 1,200千円
 - ・町防災訓練の実施《新規》 200千円
- 太陽光発電設備設置工事
 - 33,462千円
 - ・おもちゃ博物館太陽光発電設備設置 17,237千円
 - ・ふれあい交流館太陽光発電設備設置 16,225千円
 - 防災対策・再生可能エネルギー活用の推進

壬生町の個性的で総合的な魅力づくりに向けて、様々な地域ブランドを創出するとともに、広く発信できる環境づくりを進めます。

- 地域特産物推進事業の拡大（苺・トマト・ニラ・干瓢・みぶ菜等）
 - 1,221千円
 - ・みぶ菜推進関係経費 200千円
- ブランド推進事業
 - 500千円
 - ・みぶブランド推進協議会補助金
- みぶハイウェーパークの維持管理
 - 39,190千円

- 歴史民俗資料館企画展の開催
 - 3,100千円
 - ・『郷土の偉人顕彰作業』展示会補助金 3,100千円
 - 企画展：「誠心院聡子の生涯 ～七人のサムライに囲まれて～」講演会、能楽上演
- 文化財保護管理事業
 - 3,640千円
 - ・壬生古墳群シンポジウム補助金 1,000千円

急激な社会経済情勢の変化に対応しながら、活力に満ちた魅力ある産業や雇用の創出を実現するため、みぶ羽生田産業団地の整備・誘致推進や農商工の連携などにより、新たな産業環境づくりを進めます。

- 産業振興奨励事業の実施
 - 13,870千円
 - ・みぶ羽生田産業団地進出企業への用地取得奨励金等
- 商工業振興補助事業の実施
 - 12,138千円
 - ・商工業振興補助金 12,138千円
- 中小企業融資制度事業の実施
 - 202,010千円
 - ・中小企業融資制度貸付金 200,000千円

- 農作物生産振興推進事業
 - 2,124千円
 - ・米生産振興対策事業《新規》 1,000千円
 - 水稻への無人ヘリコプターによる農薬の空中散布に対する補助金
- 多面的機能支払事業
 - 31,528千円
 - ・継続：羽生田地区、下稲葉地区
 - ・新規：上稲葉地区、藤井地区、恵川地区、南犬飼中部地区
- 下稲葉地区圃場整備推進事業
 - 17,865千円
 - ・経営体育成促進換地等調整業務委託、国有地等編入事務業務委託
 - ・県営農業農村整備事業調査計画負担金



新副町長に 櫻井康雄氏が就任

平成27年第1回壬生町議会定例会において、櫻井康雄氏が副町長選任の同意を受け、4月2日、副町長に就任されました。

櫻井氏は、県立栃木高校を卒業後、早稲田大学法学部を経て、昭和53年4月に栃木県庁に入庁、以来37年間奉職され、本年3月に退職されました。その間、環境保全課長、医事厚生課長、保健福祉部次長、環境森林部次長、環境森林部長を歴任されるなど、地方行政全般にわたり幅広く活躍されました。特に、環境森林部次長在職時には、東日本大震災が発生し、県内産の林産物の風評被害対策、また、被災地の復興支援と



して、本町で実施された「震災がれき」の受け入れ処理等に取り組みられご尽力されました。

森田益夫氏 壬生町副町長が退任

本年3月31日付けをもって、副町長の森田益夫氏が退任されました。

森田氏は、昭和43年から平成21年3月に退職されるまでの約40年間、壬生町職員として奉職され、その後、壬生町シルバー人材センター常務理事を経て、平成22年7月に壬生町副町長に就任されました。その間、町職員時代からの行政経験で培った豊富な知識と経験を活かされ、東日本大震災への対応やそれを受けての防災無線や関連施設の整備、「インター北通り」などの幹線道路の整備、公共交通「デマンドタクシーみぶまる」の運行開始、また、「みぶブランド」の認定、「みぶ羽生田産業団地」への企業誘致など、副町長として幅広い分野でご活躍をされ、壬生町の発展・振興の基盤づくりと住民福祉の向上に多大な貢献をされました。



して幅広い分野でご活躍をされ、壬生町の発展・振興の基盤づくりと住民福祉の向上に多大な貢献をされました。

落合範子氏教育長退任

落合教育長が3月31日付で退任されました。

落合教育長は、平成21年4月教育長に就任し、以来6年間にわたり町の教育行政に全力で取り組みられました。論語の素読を推進、平成25年には、「1000人の論語大朗読」を行い、「壬生論語古義抄」の作成に尽力されました。また、中学生の地域参画活動（ふるるMibu）、みぶっ子7か条、栃木県小学生駅伝競争大会参加等、教育・文化・スポーツに多くの功績を残されました。



新教育長に田村幸一氏が就任

第1回壬生町議会定例会において、田村幸一氏が壬生町教育委員会教育長任命の同意を受け、4月2日、教育長に就任されました。

田村氏は、昭和56年3月に宇都宮大学教育学部を卒業。同年4月から、栃木東中学校を振り出しに教職に就き、その後、下都賀教育事務所学校支援課長、栃木第四小学校長、下都賀教育事務所長、栃木市立吹上中学校長を歴任するなど学校及び教育行政のいずれにも豊富な経験をもたれています。



平成27年10月から、国民の皆さま 一人一人に12桁のマイナンバー（個人番号） が通知されます。



- 町から、住民票の住所に通知カードが送付されます。
- 通知カードを受け取られた方は、同封された申請書を郵送すること等により、町の窓口で「個人番号カード」の交付を受けることができます。

愛称：
マイナちゃん

平成28年1月から、マイナンバーは 社会保障、税、災害対策の行政手続で利用します。

- 年金、雇用保険、医療保険の手続、生活保護や福祉の給付、確定申告などの税の手続など、法律で定められた事務に限って、マイナンバーが利用されます。
- 民間事業者でも、社会保険、源泉徴収事務などで法律で定められた範囲に限り、マイナンバーを取り扱います。

法律で定められた目的以外で マイナンバーを利用したり、 他人に提供したりすることはできません。



個人番号
9876……



- 他人のマイナンバーを不正に入手したり、正当な理由なく提供したりすると、処罰されることがあります。
- マイナンバーと結びついた個人情報を保護するため、様々な対策を講じます。

マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、 公平・公正な社会を実現する社会基盤です。

行政の効率化

行政機関や地方公共団体などで様々な情報の照合や入力などに要している時間や労力が大幅に削減されるとともに、より正確に行えるようになります。

国民の利便性の向上

添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、負担が軽減されます。情報提供等記録開示システムによる情報の確認や提供などのサービスを利用できます。

公平・公正な社会の実現

所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなり、脱税や不正受給などを防止するとともに、本当に困っている方にきめ細かな支援を行えます。

マイナンバーは一生使うものです。大切にしてください。

マイナンバーのホームページ：<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/index.html>
公式twitter：https://twitter.com/MyNumber_PR マイナンバーのコールセンター：0570-20-0178（マイナンバー）

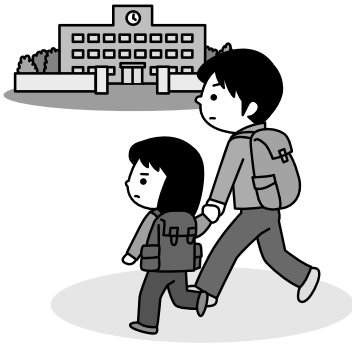
壬生町

防災行政無線 システムについて

壬生町防災行政無線
に関する
お問い合わせは・・・

壬生町役場 総務部
総務課 消防防災係
(0282)
☎81-1808

大規模災害においては、多様な問題に対し、的確にしかも迅速に対応することが求められ、同時に多くの人に同じ情報を送ることも求められています。これらをカバーする情報伝達手段の一つとして、壬生町では「防災行政無線」を採用し、平成26年4月1日より運用を開始しました。



そもそも 防災行政無線とは？



これは、屋外に設置した拡声子局（スピーカーやモーターサイレンが設置されています。）などにより一斉に放送ができる設備やメール配信機能等により、緊急時における災害情報や気象情報などを的確に、迅速に発信することが可能です。

放送される内容とは？



● 防災情報 1、火災や災害の発生

火災や災害が起こった際にモーターサイレンにてお知らせします。サイレン音が聞こえたら周囲に警戒してください。

2、避難勧告等の発令（解除）

住民の方へ避難勧告等の発令（解除）をお知らせします。

住民の方は災害がすぐ目の前に迫っていることを自覚し、避難準備・避難してください。

3、避難所開設・救援物資配布等の情報

開設している避難所や救援物資配布等についても随時連絡します。

4、断水・停電などの情報

● 行政情報

1、定時放送

毎日午後6時に「音楽」を放送しています。

2、各種行事のお知らせ

火災予防週間のお知らせやその他行事を放送いたします。

3、選挙啓発などの広報

放送内容を聞き逃してしまった

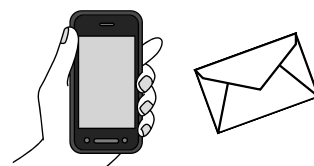
「放送されていることに途中で気付いた」「風が強く放送内容がよく聞こえなかった」という場合は、次の番号に電話すると放送内容を聞くことができます。



(0282)
82-9000

重要

住民の皆様へ 防災メール登録のお願い



災害や火災発生時のサイレン吹鳴や、避難勧告等の発令などの放送が当日の天候やその他状況によっては聞こえない場合も考えられます。そこで町内全域の住民の皆様には災害状況等の情報を知っていただくために、拡声子局からの案内と同じ内容を携帯電話やパソコンなどへメールを配信いたしますので、事前に登録をお願い致します。

登録方法

「壬生町防災WEB」でネット検索していただき「防災メール登録」へアクセスしていただくか、携帯電話・パソコンなどから次のURL・QRコードより登録してください。



URL <http://www.bousai-mibu.jp/mail/pub/>

壬生町防災WEBについて

防災行政無線での放送内容が随時HPに反映され、災害状況等が確認できます。

※災害時はアクセスが集中することが考えられますので、防災メールからの情報把握をお勧めします。上の登録方法より登録をお願い致します。



「中学生および青少年による地域活動」の愛称が決定しました！

「人と人とのふれあいをとoshite多くの人が笑顔になってほしい」、「笑顔があふれるあたたかい壬生町であってほしい」、「壬生町の中で一人一人がきらきら輝いてほしい」などの願いを込め、中学生と青少年による地域活動の推進の愛称を『ふるるMibu』と決定しました。

3月14日（土）に開催した「地域活動に励んだ中学生と青少年の交流会」の中で、現在推進している中学生および青少年による地域活動が、多くの町民に親しみをもってもらえるよう愛称について話し合いました。出されたたくさんのアイディアの中から、中学生と高校生の地域活動に対する思いがギュッと詰まった「ふれあい」「スマイル」「あふれる」の3つの言葉を選び、それぞれから○の1字ずつをとって『ふるるMibu』という愛称を付けました。

「ふるる」には、町民の心があたたかい気持ちで満たされる「Full」、壬生町にたくさんの笑顔が降り注ぐ「降る」、壬生町をふるさととして愛してほしいなどの思いも込められています。また、中学生と青少年による地域活動が、人と人をつなぐ架け橋となれるよう、虹をイメージしたロゴデザインにしました。

地域活動に励んだ 中学生と高校生の交流会

3月14日（土）生涯学習館において、「地域活動に励んだ中学生と高校生の交流会」を開催しました。当日は、22名の中高生が参加して、飲み物を飲んだり、お菓子を食べたりしながら、活動の様子をまとめたスライドを視聴し、楽しく1年間をふりかえりました。



地域活動に参加するには？

次頁に紹介してあります町及び教育委員会主催行事は、学校（壬生中、南犬飼中、壬生高）を経由して案内のチラシが配付されます（中学生のみの募集もありますのでご了承ください）。参加希望の活動がありましたら、中学生は各学校に設置してある応募箱に、高校生は直接生涯学習課へお申込みください。

※壬生高以外の青少年のみなさんには、前年度参加している活動であれば直接郵送で、その他のみなさんには、ホームページで情報を提供していきます。

自治会や育成会、その他地域団体での活動への参加は、それぞれの主催者に直接お問い合わせください。

平成27年度の予定

第5回チャリティー交流会 (対象：中学生)

H27.5.23(土)
壬生中央公民館

みがつ子どもときさマーキャンプ (対象：中学生、昨年参加した高校生)

H27.7.31(金)～8.2日(日)
嘉陽が丘ふれあい

子育て・親育ち講座 (対象：中学生、高校生) 家族のためのお料理講座

H27.8.5(水)
保健福祉センター

子育て・親育ち講座 (対象：中学生、高校生) 赤ちゃんとのふれあい交流体験

H27.8.6(木)
保健福祉センター

生涯学習館委託事業 「ポケット」夏まつり (対象：中学生)

H27.8.21(金)
生涯学習館

ふるさとまつり翌朝清掃 (対象：中学生、高校生)

H27.8.23(日)
壬生総合公園陸上競技場
わんぱく公園

壬生町健康ふくしま祭り (対象：中学生、高校生)

H27.10.25(日)
保健福祉センター

ゆうがおマラソン大会 (対象：中学生、高校生)

H27.12.6(日)
総合公園陸上競技場2カ所の給水所
※高校生はスポーツ振興課
から協力依頼があります

壬生町成人式 (対象：中学生)

H28.1.10(日)
壬生中央公民館

カルタとり大会 (対象：中学生、高校生)

H28.1.23(土)
壬生中央公民館

郡市町対抗駅伝応援 (対象：中学生、高校生)

H28.1.31(日)
壬生町体育館付近

年度はじめの予定ですので、今後変更や追加があるかも知れません。予めご了承ください。

保護者の皆様、地域の皆様へ

中学生・青少年による地域活動にご理解とご協力をお願いします

「中学生・青少年＝次代の担い手」という視点

中学生・青少年を、「お手伝いしてくれる人」という視点ではなく、「将来、ともに手を取りあってまちづくりに励む若きパートナー」という視点で接していただくと幸いです。

自治会や育成会でも活躍の機会を

昨年度は、自治会の奉仕活動やお祭り、育成会行事の小学生支援などでも中学生が活躍しています。地域活動に中高生を誘ってみてください。

「地域活動への参加」記録カード

中学生全員に「地域活動への参加」記録カードを教育委員会より配付します。記録カードには保護者や主催者等地域の大人から印（またはサイン）をいただく欄があります。

活動終了後、励ましの言葉とともに押印（またはサイン）していただき、がんばった中学生を勇気づけてください。皆様のあたたかい言葉かけで、中学生たちは自己有用感を育てていきます。

問合せ先 壬生町教育委員会事務局生涯学習課社会教育係 (0282-81-1873)

壬生町合併
60周年記念事業

蘭学のまち“みぶ” 第5回チャリティー交流会!!

～文化活動を通してみぶまちから福祉の輪を広げよう～

日 時：**5月23日(土)・24日(日)**

午前9時から午後3時

会 場：**壬生中央公民館**

入場無料

大ホール (23日)◆ステージ発表

民謡・民舞・邦楽・健康ダンス・フラダンス
郷土芸能・コーラス・吟詠・剣詩舞・日舞
合唱・太鼓・オカリナ・吹奏楽・バレエ 等

＜出演団体＞ 町立保育園、メリーランド保育園
壬生寺保育園、南犬飼中、壬生高、みぶ吹奏楽団
睦地区・安塚地区コミュニティ、文化協会 他



中ホール (23・24日)◆作品展

写真・美術(絵画、版画など)・書道・盆栽
華道・ふくべ細工・仏像彫刻・着物リフォーム
編物 等

＜出展団体＞ 町内小中学校、壬生高、古布の会
睦コミュニティ(遊学塾)、公民館利用団体、文化協会
他



屋 外 (23日)◆模擬店、ステージ、こどもイベント等

模擬店・バザー、神輿・ソーラー屋台、囲碁対局、花販売、お楽しみステージ 他
子どもイベント(ゲーム、食育カルタ 他)



防災コーナー
・起震車、煙道体験



ロビー (23日)

◆お茶席



ご家族皆さままで
お越し下さい!



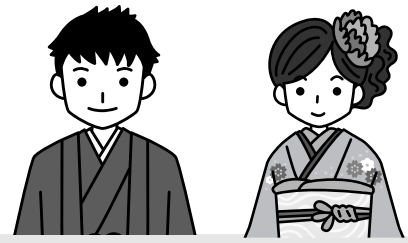
※なお、主催者の都合により、イベント内容が一部変更または中止となる場合がございますので、予めご了承ください。

主 催：壬生町文化協会 共 催：壬生町 壬生町教育委員会

後 援：壬生町商工会 壬生町社会福祉協議会 壬生町幼稚園連合会 壬生ロータリークラブ 壬生ライオンズクラブ
壬生町自治会連合会 壬生町女性団体連絡協議会 壬生町PTA連合会 壬生町子ども会育成会連絡協議会
睦地区コミュニティ推進協議会 安塚地区コミュニティ推進協議会 壬生町地域活性化21

《お問合せ先》 壬生中央公民館 ☎0282-82-0108

「社会教育委員の会議」による 新成人を対象とした 居住意向調査を実施しました



社会教育委員の会議(委員長 田中 鍾八郎)では、次世代を担う若者たちが、地域の人たちとの豊かなかかわりをとおして、郷土愛や壬生町で育ったことを誇りに思える気持ちを育てていけるよう、地域活動(中学生地域活動参画推進事業)のあり方について、検討するための諸データを収集する目的で意向調査を実施しました。

- 1 調査日 平成27年1月11日(日)
- 2 調査対象 第66回壬生町成人式に参加した新成人 282名
- 3 回答数 182名
- 4 回答率 64.5%
- 5 意向調査結果 下記のとおり

Q1 あなたの性別は？ いずれか一つに○印をつけてください。

	男	女
回答者数	97	85
回答率	53.3%	46.7%

Q2 あなたの現在のお住まいは？ いずれか一つに○印をつけてください。

	壬生町内	栃木県内(壬生町外)	栃木県外、国外
回答者数	131	10	41
回答率	72%	5.5%	22.5%

Q3 あなたの職業は？ いずれか一つに○印をつけてください。

	学生	社会人	その他
回答者数	126	48	8
回答率	69.2%	26.4%	4.4%

Q4 あなたは、将来、壬生町に住みたいと思いますか？ いずれか一つに○印をつけてください。

	はい	いいえ	どちらともいえない
回答者数	66	28	88
回答率	36.3%	15.4%	48.4%

Q5 Q4で「1 はい」と回答した方。 あてはまる理由すべてに○印をつけてください。

	壬生町が好きだから	自分が生まれ育った町だから	家族や友人、親しい人たちがいるから	働きたい仕事や働く場所があるから	通勤、通学、買い物などに便利だから	自分がやりたいことができるから	子育てがしやすいと思うから	その他
回答者数	31	30	29	7	15	1	2	0
回答率	47.0%	45.5%	43.9%	10.6%	22.7%	1.5%	3.0%	0.0%

Q6 Q4で「2 いいえ」と回答した方。 あてはまる理由すべてに○印をつけてください。

	壬生町があまり好きではないから	壬生町にあまり愛着を感じないから	人付き合いがわずらわしいから	働きたい仕事や働く場所がないから	通勤、通学、買い物などに不便だから	自分がやりたいことができないから	子育てがしにくいと思うから	その他
回答者数	4	3	0	5	10	8	0	4
回答率	14.3%	10.7%	0.0%	17.9%	35.7%	28.6%	0.0%	14.3%

Q7 あなたは、中学生や高校生の時、壬生町で地域活動(ボランティア等)に参加したことがありますか？ いずれか一つに○印をつけてください。

	よく参加していた	ときどき参加していた	あまり参加していない	まったく参加していない
回答者数	11	45	48	76
回答率	6.0%	24.7%	26.4%	41.8%

とちぎ次世代人材育成2014

～新しい自分に会いに行こう！～

研修報告

とちぎ次世代人材育成とは、次代の栃木県を担う人材（人間性豊かで地域の貢献する実践的な若者・女性リーダー）を育成するため、様々な研修を県と市町が共同で実施している事業です。

昨年参加した木野内英泰さんに、研修についてうかがいました。



木野内英泰さん
■プロフィール

昭和57年 羽生田生まれ、
白鷗大学法科大学院卒、
栃木県商工会連合会より
石橋商工会に勤務中。

研修日程・内容

月 日	研修内容
7月13日(日)	開講式、「コミュニケーション・プレゼンテーション研修」 
8月3日(日)	「まちづくりのための企画立案方法」、「地域における男女共同参画について」
8月24日(日)	県内活動実践者との交流会、グループワーク
9月7日(日)	「調査研究計画の立案等について」 「インタビュー調査の手法等について」
9月28日(日)	グループワーク 
10月16日(木)～ 10月18日(土)	県外事例調査、 (北海道、札幌市) 「日本女性会議2014札幌」 に参加 
10月9日(木) 11月2日(日) 11月4日(火)	県内事例調査（現地視察、インタビュー、現地体験等） 宇都宮市、鹿沼市、 大田原市、那須塩原市 
1月25日(日)	研修のまとめ、 成果発表リハーサル
2月8日(日)	研修成果発表

みにおとな Mi.Ni.O.To.Na
里山資源を活用した
雇用創出と定住支援政策
～那須町芦野地区を事例として～



研修で得られたものはなんですか？

地域リーダーや行政の方々との意見交換を行い、提案のうちいくつかが実現化の方向に進むという実りあるものになったと思います。

達成感はもちろんですが、世代、性別、居住地域の異なる多くの方と語り合うことで、考え方の多様性を楽しむことができるようになりました。また、地域が抱える課題を他人事ではなく自分事ととらえ、課題をポジティブに解決していく姿勢を身につけられたと思います。さらに、他市町の同じ思いを持った仲間とつながりを作れたことは大きな財産になりました。



今後はどうしたいですか？

地方創生の長期ビジョンや総合戦略を見てみると、地方創生こそが日本の創生だとされています。小さいことかもしれませんが、地元の多世代が交流できるようなコミュニティを軸に、地域連携を推進するような行動がしたいと考えています。贅沢ですが、WinWinというよりもオールWinになれたらいいですね。

そして、この研修で発表した活動や提案の内容、研修の魅力を惜しみなくお伝えしたいです。ご興味のある方は infinity62448133@gmail.com まで、お気軽にご連絡下さい。

壬力（壬生の魅力）アップにつながることを楽しみながら一緒に活動できたら最高です。

平成27年度

栃木県次世代人材づくり事業の募集について

とちぎ次世代人材づくり2015とは、人間性豊かで地域に貢献する若者・女性リーダーを目指し、地域の課題、県外の取組などについて学びながら、県内各地から集まった仲間との交流を図る研修です。

「自分の新しい可能性を見つけたい！」

「地域の一員として何か行動を起こしたい！」というあなた！

ぜひ、この研修で新しい自分を見つけてみませんか。



研修日程(概要)

7月12日(日) 開講式、研修

8月2日(日)～平成28年1月24日(日)

研修(岡山県への県外研修、日本女性会議(倉敷市)への参加を含む)

平成28年2月7日(日) 研修成果発表会

募集期間

4月20日(月)～5月22日(金)

募集人員

若者・女性 25名

応募資格

県内に在住する方で平成27年4月1日現在、次に該当する方。

若者一原則18歳以上40歳未満の男女(全日制高校生を除く、県外学生を含む)

女性一原則30歳以上66歳未満の女性

・心身ともに健康で研修の全日程について出席でき、かつ、計画に従い規律ある団体行動のできる方。

・研修終了後、研修の成果を生かし、将来にわたって地域活動を積極的に行い、指導的役割を果たすことができる方。

参加費用

研修費は無料(県と町が負担します。ただし、食事代等で個人負担が生じます。)

応募方法

「平成27年度 栃木県次世代人材づくり事業参加申込書」を作成の上、

壬生町教育委員会事務局生涯学習課 (tel: 81-1873) にお申し込み下さい。

教育文化功労者並びに スポーツ・文化活動優秀児童・生徒表彰

2月27日、壬生中央公民館において、壬生町教育文化功労者表彰が行われ、町の教育文化発展のために、特に功労のあった方や、スポーツ・文化面で優秀な成績を修めた児童・生徒を表彰し、栄誉を称えました。

式典では、池節子教育委員長から教育振興に功労のあった方に表彰状が贈られました。

続いて、小菅一弥町長から、平成26年度にスポーツや文化面で活躍した小中学校の児童・生徒に表彰状が贈られました。

受賞者（敬称略）

● 本町における勤務が20年以上の教育関係職員方

壬生東小学校 奈良 勝
南犬飼中学校 おおがき 好生

● 本町教育振興のために

「宥坐之器」を寄附された方
針生 清司

受賞者のみなさん



関本消防団長・大橋民生委員児童委員協議会会長 栃木警察署から感謝状を贈呈される

3月11日（水）に町消防団 関本和夫団長は、地域住民の安全保持・向上など長年にわたる警察業務への協力に対する功績を認められ、また、壬生町民生委員児童委員協議会 大橋信行会長は、「地域の世話役」である民生委員児童委員協議会の会長として常に住民の立場に立って援助を行い、特に特殊詐欺防止の周知活動に対する功績を認められ、それぞれ栃木警察署北村修署長より感謝状が贈呈されました。

関本団長は、建設業を営むかたわら、町消防団長はもとより、県消防協会副会長、栃木地区防犯協会理事、町自衛隊父兄会長等の役員も兼任され、地域防災力の更なる向上に尽力されております。

大橋会長は、県民生委員児童委員協議会理事、町社会福祉協議会副会長、町企画委員、栃木警察署被害者支援連絡協議会理事、町青少年問題協議会委員等も兼任され社会福祉の最前線で活躍されております。



関本消防団長



大橋民生委員児童委員協議会会長

仕事と生活の調和を目指して、 「男女共同参画推進講座」を開催しました

2月26日に役場正庁を会場に、栃木県総合教育センターの白井淳子社会教育主事をお招きして、男女共同参画推進講座「ワークライフバランス 仕事と家庭のWIN-WINの関係づくり」を町教育委員会主催で開催しました。

参加者からは、「ワークライフバランスには、職場や家庭でのコミュニケーションが重要であり、それなくしては、仕事の分担や家事の分担もできない。」「相手の立場を考えることの難しさ。」などの感想がありました。



仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現した社会の姿とは、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」とされ、具体的には、・就労による経済的自立が可能な社会・健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会・多様な働き方・生き方が選択できる社会を目指しています。

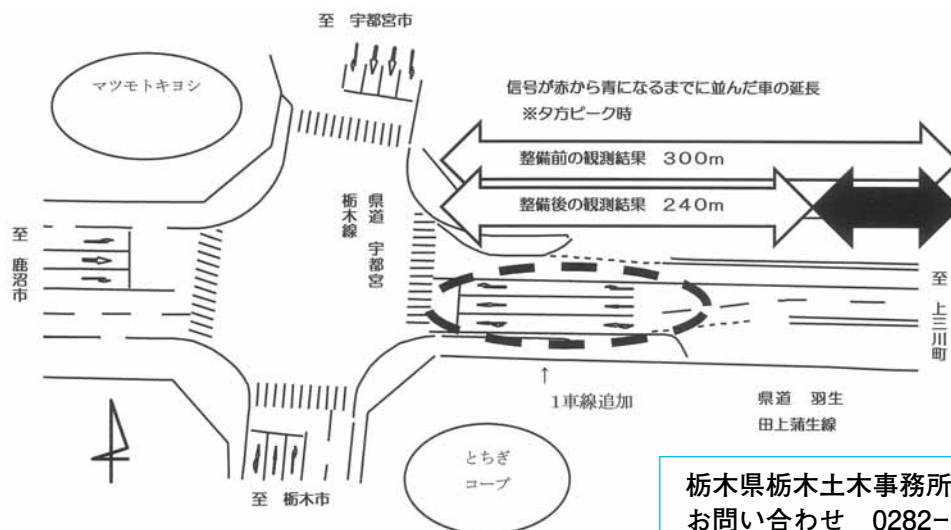
おもちゃのまち交差点の渋滞が緩和されました

栃木土木事務所では、鹿沼方面に向かう車両の渋滞対策として、平成26年5月に車線を1車線追加する整備をしました。

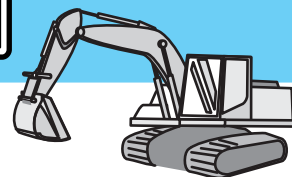
この整備の結果、以下のとおり渋滞が緩和されました。

周辺にお住まいの皆様には、工事への御理解・御協力をいただきありがとうございました。

今後は、さらに渋滞が緩和されるよう検討していきます。



「土砂等の埋立てには許可が必要です」



土砂等の埋立て、盛土を行う場合、また、他の場所への搬出を行う目的で土砂等のたい積を行う場合は、土砂等に汚染がないことを確認するため許可申請をする必要がありますので、町民生部生活環境課までお問い合わせください。

●許可が必要となる場合は

事業者等が、土砂等による土地の埋立て、盛土を行う面積が500m²以上3,000m²未満の場合、また、他の場所への搬出を目的として土砂等のたい積を行う場合は、町への許可申請が必要になります。

- ・土砂等とは、土砂及びこれに混入し、または付着したものを言います。
- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で定められた汚泥は、土砂等には分類されません。
- ・製品の製造または加工のための原材料のたい積は除外されます。
- ・埋立て、盛土を行う面積が3,000m²以上は県の条例の適用を受けますので、小山環境管理事務所（TEL0285-22-4309）に確認してください。

●他法令の許可等が必要な場合があります。

- ・事業を実施する土地が農地の場合は、壬生町農業委員会が農地転用の手続きが必要です。

- ・事業を実施する土地が山林の場合は、壬生町経済部農政課で手続きの確認をしてください。
- ・事業を実施する土地の埋蔵文化財の有無については、壬生町教育委員会を確認をしてください。

●土砂を搬入するときは届出が必要です。

事業者等が、許可後、土砂等を搬入するときは、土砂の採取場所ごと、かつ5,000m³ごとに、「土砂等発生元証明書」及び「地質分析結果証明書（計量証明書）」を添付して「土砂等搬入届」を町に提出し、搬入する土砂等が汚染されていないものであることを証明する必要があります。

●完了したときは届出と検査が必要です。

事業者等は、土砂等の搬入終了後、町に「完了届」を提出し、水質検査及び地質検査を実施して、土壌汚染がないことを確認する必要があります。

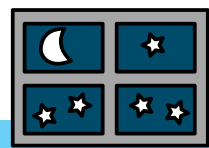
問い合わせ先

壬生町民生部生活環境課環境保全係 ☎81-1834

平成27年度

「健康づくりのための ボディデザイン教室」

～You can do it!～



Z
Z
Z

参加者募集

- ・対象：壬生町在住の方
- ・プログラム：別紙のとおり
- ・申し込み先：壬生町健康福祉課 健康増進係 ☎81-1885

	テ ー マ	日 時	場 所	℞ 切
1	健康な すいみんとは ～眠りのメカニズム～ (講話)	平成27年 10月3日(土) 10:00～12:00	保健福祉 センター 1F 大会議室	先着 50名
2	お口の健康 「は・ハ・歯 のはなし」	平成27年 11月14日(土) 10:00～12:00	保健福祉 センター 2F ボラン ティア室	先着 30名

減 塩 で 高血圧予防を!



5年ごとに改定される「日本人の食事摂取基準2015」が厚生労働省より発表されました。
今回の主な改定のポイントのひとつは、生活習慣病の予防（特に高血圧予防）を目的として、1日の塩分摂取目標量を変更したことです。

18歳以上の男性は9g未満→8g未満、女性は7.5g未満→7g未満と男女とも値が低めになりました。
日本高血圧学会では6g未満としています。

健康寿命を延ばすためには、運動習慣の定着や食生活の改善等、健康的な生活習慣の確立が必須です。特に、
栃木県は塩分摂取量が多く、高血圧による疾患と相関があります。各人が塩分摂取量を意識して、減塩を実
践しましょう！

もちろん、幼少期からの減塩は有効です。

減塩の実践！(^_^) 復習してみましょう！

1. 減塩しょうゆ・だし割しょうゆ・減塩みそ等を用いる。
2. しょうゆやソースは小皿にとって、つけて食べる習慣を！
3. しょうゆ等の容器を工夫してみる。
4. 素材のうま味を活かす。天然だしを活用する。香味野菜を利用する。
5. 食塩が多く含まれている食品（練り製品・加工食品・魚の干物等）や弁当・カレーライス・寿司の食べ方を工夫する。汁物は具たくさんにする。麺類（そば・うどん・ラーメン）の汁は残す。
6. 野菜の食べ方を工夫する。煮物は作り過ぎない。漬物は野菜と考える！
7. 子どもの頃から、濃い味に慣れさせない。
また、なんでもケチャップ味・マヨネーズ味で料理を仕上げないこと。
・・・ などなど (^o^)/





壬生小学校で生産者との会食会

2月25日、壬生小学校で生産者の方々を招き、給食の会食会が行われました。

この会食会は、子どもたちに地元で生産されている食材への関心を高めてもらい、生産者への感謝の気持ちを育むために、行われています。

この日は、壬生小学校2年生のみなさんと一緒に、にらそばろ丼のほか、壬生産のねぎとわかめのスープや、有機栽培のにんじんをふんだんに使ったサラダなど、地元の食材をふんだんに取り入れた給食を生産者の方々と味わいながら、楽しいひとときを過ごしました。



みぶバスケットボールフェスタ開催



3月8日町体育館に於いて、壬生町体育協会バスケットボール部主催による「2015みぶバスケットボールフェスタ」が、町体育協会と町教育委員会の後援を受けて、多くの参加者により盛大に開催されました。

今回は第4回となり小・中学生・高校生・一般社会人が、それぞれ持ち味のプレーを披露し楽しく爽やかに感動のゲームが展開されました。観戦者たちも大いに盛り上がった一日でした。

アトラクションでは、リンク栃木ブレックスマスコットキャラクターの「ブレッキー」も参加し、子供たちも「フリースローゲーム」や「抽選会」にも楽しみながらも有意義な一日となりました。

「早春運動教室」を開催しました

3月18日、町体育館において、壬生町保健委員会主催により「早春運動教室」が開催されました。

晴天に恵まれたこともあって、約100人と多くの方に参加いただき、フィットネスインストラクターの指導の下、音楽に合わせた運動で気持ちの良い汗を流しました。初めての試みでしたが、参加した方からの評判も良く、大成功となりました。

また、運動後にはボランティアグループ「コスモス」のご協力により「すいとん」が振舞われ、大変喜ばれました。



中央公民館にエレベーターを設置

中央公民館1階ロビー内にエレベーターが完成し、4月1日から利用できるようになりました。

今後は、ご高齢の方々や体が不自由な方々の2階会議室等への利用に大いに活用いただけます。また、公民館2階から図書館・資料館へつながる外側連絡通路も同時に改修され、資料館の企画展等への入場の際、車いす等での利用もし易くなりました。



まちのわだい

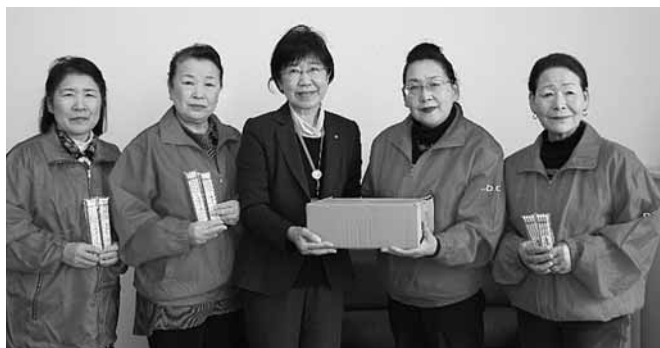
手製の「アクリルタワシ」を寄附

2月24日、壬生町消費者友の会（^{まつもとひでこ}松本英子会長）から「手製アクリルタワシ300個」の寄附がありました。

消費者友の会では、洗剤を使わないアクリルタワシの使用をすすめ、環境と人にやさしいエコを目指して、会員の皆さんの協力により毎年寄附しているものです。アクリルタワシは、役場こども未来課、稲葉・南犬飼出張所及び保健福祉センター窓口で、妊娠届出をされた方にお渡ししています。



交通安全協会女性部から新小学1年生へ鉛筆を贈呈！



3月2日、壬生町交通安全協会女性部（^{たかやま まさこ}高山祐子部会長）から、町教育委員会に鉛筆の贈呈があり、その後役員が各学校を訪問し寄贈しました。

鉛筆には「てをあげて おうだんほうどうをわたりましょう」などの交通標語が添えられおり、新小学1年生へ配られました。

壬生町交通安全母の会から新小学1年生へ「愛の鈴」を贈呈！

3月10日、壬生町交通安全母の会（^{おおがきみつえ}大垣光枝会長）から、町内各小学校に「愛の鈴」が贈呈されました。

この「愛の鈴」は、会員の皆さんが、新小学校1年生の交通安全を祈りながら、一つひとつ丁寧に作成しました。その後御琴神社において、交通安全祈願を行ったうえ、新小学1年生に届けられました。



地元と共に まごころサービス

鈴木自動車販売グループ

ロータスクラブ壬生車検センター

鈴木自動車販売株式会社

壬生町安塚1170-6

TEL: (86)0798

FAX: (86)0903

新車・中古車販売 くるま市店

スズキ販売壬生

壬生町安塚793-18

TEL: (86)3188

FAX: (86)3172

オートサービス安塚給油所

スタンドスズキ

壬生町安塚874-3

TEL: (86)0386

FAX: (86)0368

サイクル&モーターショップ

鈴木輪業

壬生町安塚1935

TEL: (86)0012

FAX: (86)1356

フリーダイヤル 0120-12-0798

寺崎雄一君がとちぎ未来創造大学『奨励賞』を受賞

とちぎ未来創造大学では、小学校4年生から中学校3年生を対象として、平成26年度には、「宇宙・天文」、「ロボット・ものづくり」などの4コース81講座を開催しました。この大学は、栃木県内で活躍している専門家の先生が、「実験」、「ものづくり体験」、「観察」などを通して、身の回りにあるいろいろな「なぜ?」について答えて、学びの楽しさを発見していく学習機会を提供する場です。

平成26年度の総まとめとして、去る2月21日に栃木県子ども総合科学館において、約250名が参加して受講者交流学習が行われました。特別講座『発明王エジソンの秘密』では、おもちゃのまちバンダイミュージアム 金井政雄館長の講演等が行われました。また、表彰式では、10単位以上を取得した18名の表彰が行われ、16単位を取得した寺崎雄一君が、『奨励賞』を受賞しました。



中央が栃木県教育委員会 古澤教育長
右から3人目が、寺崎雄一君

毎週土曜日朝9時から10時まで、歴史民俗資料館で、この『壬生論語古義抄』を使った素読の教室《壬生論語古義塾》を開催しています。自由参加ですので、ぜひご参加ください。参加費は無料ですが、初回のみ200円の資料代がかかります。

小説家 吉川英治の「われ以外 みなわが師」は誰もが知っている有名な言葉だね。人は誰からでも学ぶことができる、学ぼうとする意識が大切ということだね。ただし「この人は○だけど、あの人は×。」という総体的な見方は禁物。それでは見えるものも見えなくなってしまうね。「この人のこんな所、あの人のあんな所。」と個々のポイントポイントを見ることの方が大切だね。学ぶべき所、自分にもそんなところがないか反省材料とすべき所を見極めながら、着実に自分の成長に役立てていきたいね。

【みづまるから一言】



三人で行動すれば必ずその中に手本となる人がいる。その中でよい人を選んでその行動に従い、よくない人であっても反面教師として自分を正す。

(述而第七)

【五〇】
子の曰く、三人行えば、必ず我が師有り。
其の善なる者を択びて之に従い、
其の不善なる者は而も之を改む。

新しい論語素読テキスト『壬生論語古義抄』から、章句を紹介します。

今月の「壬生論語古義抄」13

こんにちは！壬生町教育委員会です！

第60回

教育・文化・スポーツの振興に取り組む

無料体験実施中！



エクササイズ（ピラティス・ストレッチ・筋トレ・自力セイタイ・ラテンダンス）と社交ダンスのレッススタジオです。

DANCE STUDIO Moriguchi

壬生町至宝3-8-6
コープ近く

82-8852

詳細はHPをご覧ください。 <http://dsmoriguchi.com>

《お任せください》

皆様の暮らしを守ります

- 壬生町水道施設維持管理業務
- 壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務

○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員

㊤セントラル工業株式会社

昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績

本社：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-1-8 恵比須OTビル6階
栃木営業所：〒323-0807 栃木県小山市城東1-13-102



ほうしょうたい ち
北條太智ちゃん
(H26.4.28生)
えいた
瑛太ちゃん
(H24.7.1生)
(栄町)



やまかわ れお
山川玲央くん
(H23.4.20生)
りん
凜ちゃん
(H26.4.9生)
(至宝町北)

みんなの 広場

わが家の
アイドル



てらうち ゆな
寺内結菜ちゃん
(H25.4.11生)
(安塚中央)



かとう みゆき
加藤美幸ちゃん
(H21.4.13生)
(東下台)

今回は6月生まれのアイドルを募集します。写真は掲載後にお返しいたします。

【締 切】5月20日

【必要事項】氏名(ふりがな)(複数のアイドルが写っている場合はそれぞれ分かるように明記してください)、保護者名、生年月日、住所、電話番号

【申込方法】必要事項を明記の上、役場総合政策課または稲葉・南犬飼出張所・子育て支援センターまで

【申 込 先】町総務部総合政策課 情報広報係
〒321-0292 壬生町通町12-22
Eメールアドレス info@town.mibu.tochigi.jp

歴史民俗資料館だより

地域に眠る文化財シリーズ
羽生田地区の文化財2
ちやうすやま

『茶白山古墳』

―丘陵上に築かれた石の山―

羽生田地区の文化財を語る上で欠かせないのが「茶白山古墳」です。昭和33年に国の史跡の指定を受けるほど、昔から全国的に知られていた古墳です。何故かという、大正年間に発掘調査が行われ、大型の埴輪群が存在することが中央の専門誌に紹介されたことにより、大型の円筒埴輪が、列をなして整然と並んでいる姿は圧巻です。

現在、現地を訪れると多くの草木に覆われていますが、古墳が造られた当時は、墳丘の全面が川原石で覆われ、墳丘や周堤上には高さが1mを上回るような円筒埴輪が何百本と立っていたのが本来の姿です。羽生田のバイパスから北にある清掃センターを望むと、その西側に谷を挟んで相対する二つの古墳があり、その西側にあるのが「茶白山古墳」です。

ぜひ両古墳を訪れた際は、墳丘に立てられた大型の埴輪列や壮大な古墳本来の姿を想像しながら見てください。現地を訪れる前に壬生町歴史民俗資料館にて、両古墳

から出土した本物の埴輪を見学してから、現地を訪れると古墳への理解もより深まると思います。「茶白山古墳」や「富士山古墳」を訪れる際は、ご面倒でも清掃センター隣りのふれあい女性センター駐車場をご利用ください。



「茶白山古墳」円筒埴輪列
『東京大学人類学会雑誌』から



問合せ先

歴史民俗資料館

☎0282-82-8544

壬生町の皆さまが主役です!

コミュニティチャンネル!



「コミュニティチャンネル」は地域のイベントやお店情報、自治体からのお知らせ、防災等の緊急情報など、地域に密着した話題をお届けするチャンネルです。



地上デジタル 111ch

リモコンボタンは 11

★C C 9 ニュース 今後の取材・放送予定★

内 容	開催日	放送日
消防交通フェア(壬生総合運動公園陸上競技場)	4/29(水)	5/1(金)
栃木バレーボール交流会(壬生町体育館 他)	5/3(日)	5/4(月)

取材・放送の予定は予告なく変更場合があります。予めご了承ください。

みなさんの地域の身近な話題をお寄せください! [C C 9 ニュース] 月曜〜金曜 夕方6時更新

栃木ケーブルテレビ ケーブルテレビの地域情報をお知らせしたい方は下記までご連絡ください
☎0120-23-1819 FAX ☎ tayori@cc9.ne.jp

成績

小学1・2年生の部

優勝	浅利 唯 ^{あさり ゆい}	(おもちゃのまち剣道教室)
準優勝	木野内航聖 ^{きのうち こうせい}	(おもちゃのまち剣道教室)
第3位	菅原 悠生 ^{すがわら はるき}	(壬生町少年剣道教室)
第3位	菊地幸汰郎 ^{きくち こう たろう}	(壬生町少年剣道教室)

小学3・4年生の部

優勝	鷹簀 裕太 ^{たかのし ゆうと}	(おもちゃのまち剣道教室)
準優勝	諏訪 兼大 ^{すわ けんた}	(壬生町少年剣道教室)
第3位	田上 一歩 ^{たがみ いっぽ}	(おもちゃのまち剣道教室)
第3位	梁島 翔吾 ^{やしま しょうご}	(壬生町少年剣道教室)

小学5・6年生の部

優勝	井相田歩夢 ^{いそだ あゆむ}	(おもちゃのまち剣道教室)
準優勝	栃木 莉穂 ^{とちぎ りほ}	(壬生町少年剣道教室)
第3位	井上みりり ^{いのうえ みりり}	(おもちゃのまち剣道教室)
第3位	佐藤 秀太 ^{さとう しゅうた}	(おもちゃのまち剣道教室)

中学生男子の部

優勝	松尾 拓海 ^{まつお たくみ}	(壬生中学校)
準優勝	磯 知希 ^{いそ ともき}	(壬生中学校)
第3位	三原 礼聖 ^{みはら らいせい}	(南犬飼中学校)
第3位	山中 優希 ^{やまなか ゆうき}	(壬生中学校)

中学生女子の部

優勝	大牧 由佳 ^{おおまき ゆか}	(壬生中学校)
準優勝	糸川 尚美 ^{いそがわ なおみ}	(壬生中学校)
第3位	木野内美聖 ^{きのうち みさと}	(壬生中学校)
第3位	鈴木 優希 ^{すずき ゆき}	(南犬飼中学校)

第29回町民剣道大会

2月22日：町総合運動場武道館 53名参加



各部門優勝者のみなさん
(後列左から松尾さん、大牧さん
前列左から浅利さん、鷹簀さん、井相田さん)



版画「カヌー遊び」



羽生田小5年
高橋 未佑^{たかはし みう}



羽生田小6年
野代 陽友^{のしろ ひゆう}



版画「指ずもう」

寄附

福祉に役立ててほしいと寄附がありました。
ストロベリー様……………3千円

訂正のお知らせ

広報みぶ3月号に掲載しました小学生対象教室に訂正があります。

グラスアート (誤) 8/18(火) → (正) 8/19 水)
になります。お詫びして訂正いたします。

表紙の写真

4月6日の夜に撮られた東雲橋周辺の写真です。
夜と満開の桜という風景が、とても幻想的な一枚になりました。



納期限
6月1日

(全期)

● 軽自動車税

5月の納税等